

令和5年度



第3学期 始業式 式辞

砺波市立庄川中学校

新しい年を迎えました。庄中生の皆さん、明けましておめでとうございます。3学期は一年の締めくくりの学期です。三つの話をします。

1 今を大切に そして、楽しむ

令和六年能登半島地震、私たちも震度5強を体験しました。テレビではすぐに被害の状況が映し出されました。日を追うごとに亡くなった方、安否の確認ができない方の人数が増えています。断水、停電、建物の損壊と、ニュースを見ていると、胸がつぶれる思いがします。

皆さん、どう思ってテレビを見ていましたか。被害に遭われた方を思う気持ち、とても尊いものです。でも、そこに気持ちを入れすぎて、あなたが暗い気持ちになってしまい、せっかくの力を発揮できない状況。これは、誰も望んでいないことです。

被害に遭われた方を思う。できることを探す。その一方で、あなたはあなたの人生の今を、精一杯楽しみ、幸せを感じてほしいと思います。そして、自分で考え、自分や周りの人を幸せにできるなら、最高です。せっかく大きな被害に遭わず、生きている、普通の日常がある、好きなことに取り組める、この当たり前の幸運な状況に感謝し、今を大切に、そして、楽しんでほしいと思います。

2 なりたい自分 夢や目標に向かって

自分が熱中したいこと、これは人には負けたくないもの、見付けましたか。3年生は、自分の進路選択について悩み、時間をかけて勉強できましたか。アメリカの最も歴史のある名門大学、ハーバード大学。人の幸福研究の権威です。幸福に関する研究の結果、見えてきたこと、「幸せな人生を送る秘訣」は自分が好きなことに、自分が大切だと思う人と打ち込むことだそうで

す。実現するためには、粘り強く取り組むことが必要です。すぐにはできないこともあります。諦めなければ、きっとできます。あなたを支える仲間がいます。情熱を燃やしてください。素晴らしい力が身に付きます。

打ち込みたいものがまだ見付からない人は、探してください。きっとあなたの近くに、それが眠っています。少しやってみないと、見付かりません。自分の力を伸ばし、夢や目標をかなえる一歩をつくりましょう。

3 「気付き、考え、行動する」

「庄川中のよいところは、挨拶が素晴らしいところ」と考える人が多いと思います。実際に、出会う人に爽やかな風を送っている人がたくさんいます。さて、その「挨拶の素晴らしさ」は本物でしょうか。本物であれば、どんなときでも、また、一人であってもそれができるはず。冬休み、ある部に外部の先生が来られました。スタートの挨拶は残念な挨拶でした。失敗は成功のもと。これから、変えていけばいい。

令和5年度の庄川中学校は「気付き、考え、行動する」が重点目標です。挨拶に限らず、自分で「よりよいこと」「今、何をしたらよいのか」と気が付いて、よりよい行動を考え、実行に移します。自分が人生の主役です。実行して、できることを本物にしていきましょう。

最後に、新年早々、暗いニュースが多くありました。皆さんには、希望をもって、いろいろなことに挑戦してほしいと思います。明るい未来をイメージしましょう。2030年に予想されている世界を紹介します。皆さんは、それをさらに進化させていく立場です。どんな力を大人になるまでに身に付けていくか、考えながら聞いてください。

